

平成29年度 自己評価・学校関係者評価

学校番号	78	学校名	静岡県立浜松工業高等学校 (全日制)	記載者	大瀬 裕市
------	----	-----	-----------------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	次の100年に向けた学校の体制づくり	全ての学科で授業連携を実施	A	A	授業連携の実施細則を作って目的を明確にし、その中でわかる授業の工夫を相互に謙虚に学びあう体制づくりをお願いしたい。
		課題研究等での連携と理工情報・理工探求の具体的な実践	A	A	SSHの発表会に参加した。浜工生の自らが考えて実践できる能力の高さがわかる良い発表会であった。
		具体的目標の設定と効率的な教育実践	A	A	浜松工の機械科を卒業して板金塗装業を自営している若者の技術の高さに驚いている。
		実りある講演会・発表会の実施	A	A	ハイレベルの知識と話術に富んだ人材の講話は将来大きな力となる。より良い講演会の継続した実施を期待する。
イ	基礎基本の定着を図るとともに、知的好奇心の育成を図る。	学年末での欠点保有科目 第1・2学年10科目未満 第3学年0科目	B	B	欠点者の数は先生の指導力の反映だと聞いたことがある。自分も若い頃、欠点は生徒の努力不足と思っていたが、指導者の責任であることを先輩の先生に言われて言われて自分の力不足を思い知らされた。
		年間平均貸出冊数 2.0冊/人以上	B	B	朝読書の実施は有効である。継続してほしい。良書に親しむ習慣をつけさせてほしい。
ウ	生徒会を中心に生徒主体の活動を拡大する。	生徒会が企画した事業の実施 行事における生徒の満足度80%	A	A	様々な行事の運営に関わった経験は将来大きな力となって生かされる。高校時代に企画力や協調性の基礎を身につけさせたい。
エ	学校ホームページを有効活用し、効果的な広報活動を実施する。	1日の平均訪問回数 500回以上	A	A	HPを見て浜工での高校生活の様子が良くわかる。動画やデザインを工夫するなど、浜工ならではのオリジナリティーを出してほしい。
オ	進路課と連携した各学年の緻密な生き方指導の計画を策定する。	就職内定率 100% 国公立大学合格者 25人以上	B	A	大企業や国立大学の数に捕われず、個人の個性を重視した進路指導を心がけてほしい。

様式第 5 号

カ	基本的な生活習慣を保証するための安全かつ安心な学校づくりを推進する。	重大な交通事故ゼロ 軽微な交通事故 15 件以下 あいさつがきちんとできると回答する生徒 80%以上	B	B	高校生や大人の車の運転には個性がある。悪い運転週間を直すための交通指導を行ってほしい。安全な自転車の乗り方や交通マナーの改善を継続して指導してほしい。
		防災訓練を年間 3 回実施	A	A	実際の災害時には高校生の力が大事な戦力となる。近年地域主催の防災訓練にも、多くの生徒が参加してくれるようになった。
		保健室だよりの発行 年間 10 回以上	A	A	「医食同源」の言葉から、生活習慣病の知識を食育の一環として身に付けてほしい。
		各相談室員による面談、年間 10 回以上	A	A	浜工では心身ともに明るく振る舞う生徒ばかりに思えるが、中には人知れず悩みや不安を抱えている生徒もいると思う。個々の先生のカウンセリング技術の向上を期待したい。
キ	本校の教育活動が円滑に展開できるよう環境整備を図る。	営業日のネットワーク稼働率 100%	A	A	ネットワークに高い専門性を持った先生が真摯に対応している。
		アンケート調査で全員給食に関して、肯定意見を 80%以上にする。	A	A	全員給食は全県的に見ても珍しく恵まれた環境にある。浜工生がいる家庭では、そのことが自慢の特色となっている。
		学校の施設（備品・機械）について「満足できる」と回答する生徒 80%以上	B	B	近年の予算状況で、実習設備を中心に更新することは難しい現状と理解している。しかし、将来の日本の工業教育の推進を考えて努力を続けてほしい。
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法を確立する。	授業公開での相互授業参観 2 回以上 生徒授業アンケート 2 回以上	B	B	先生方は多忙のことと思うが、初任時代に戻って、他人から学ぶ姿勢を思い返してほしい。